



平成31年1月19日(土)広島県立総合体育館(広島市中区)武道場において、第19回五色百人一首広島県大会を開催いたしました。広島県内から201名の児童が集まり、熱い戦いを繰り広げました。

予選リーグ戦では全員が9試合行い、上位8名が決勝トーナメント戦に出場しました。児童は、これまでの練習の成果を発揮すべく真剣なまなざしで札に向かい、自分の持てる力を精一杯出し切りました。勝った時の誇らしげな表情、負けた時の悔しそうな表情、そのどちらも全力で勝負に挑んだ証として輝いていました。

今年は、広島県かるた協会の方と児童の交流対戦も行いました。対戦した児童は、有段者の札を取るスピードに驚きつつもそれぞれ大健闘していました。

また、「親守詩」づくりも体験しました。日頃の親への感謝の気持ちを五・七・五のリズムに合うように表現しました。

■ 衆議院議員 岸田文雄氏はじめ、多くの来賓の方にご臨席いただきました

大会名誉会長、衆議院議員岸田文雄氏はじめ、広島県議会議員の緒方直之氏、石橋林太郎氏、広島市議会議員の定野和広氏に来賓としてご臨席いただきました。



衆議院議員 岸田文雄氏

開会式での岸田氏のご挨拶(一部)

みなさんが取り組んでいる百人一首は、日本の歴史や伝統、文化が凝縮された素晴らしいものです。この百人一首を学ぶことによって、みなさん一人一人の人生が本当に心豊かになっていくと確信しています。ぜひ、この大会を通じて楽しい思い出をたくさん残すことによって百人一首に慣れ親しみ、みなさんの人生がより豊かなものになることを心から願っています。



緒方直之氏

石橋林太郎氏

定野和広氏

■ 五色百人一首とは



「五色百人一首」とは、百人一首を20枚ずつ五色に色分けした教材です。このため一試合3分ほどで勝負がつきます。子供達は五色百人一首に熱中し、楽しみながら百人一首を覚えていきます。試合を繰り返すうちにルールを守ることが身につく、男女の仲も良くなります。はじめは泣いて負けを受け入れられなかった子供も、自然と負けを受け入れられるようになります。

ある小学校教師の感想です。

「かるたで負けが受け入れられるようになると、子供同士のトラブルが減り、遊びやゲームが楽しく行えるようになってきました。自然と手が触れ合うので、男女の仲も良くなりました。」

■ 親守詩(おやもりうた)をつくりました

親守詩とは、子供が五・七・五で、親が七・七で、「感謝」と「親心」を表現する親子の”キャッチボール短歌”です。「子守歌は親から子への思いを表現したものだが、その逆に親への報恩感謝の思いを表現する試みもあってよいのではないか。」という考えをきっかけに、生まれました。

TOSS(※)が、子供が詠んだ句に対して親が句を返すタイプの親守詩を考案しました。親子の愛情が端的に伝わる親守詩は、作品に触れた人々へ大きな感動を与えています。

(※)**TOSS** (Teacher's Organization of Skill Sharing) とは？

授業・教育にすぐに役立つ教育技術・指導法を開発し、集め、互いに追試し、検討しあって自らの授業技術を高め、そのような技術や方法を全国の教師の共有財産にしようと努める教師の研究団体です。

TOSS広島は、TOSSの主張に賛同した広島県内の教師による団体です。近年は、指導技量の向上に努めることに加え、「五色百人一首大会」「五色百人一首教室」「目指せ！広島県子ども観光大使」「親守詩大会」「年賀状の書き方教室」などの社会貢献活動を通して、児童の健全育成に努めています。(TOSS 広島ホームページ <http://tos-hiroshima.org/>)

児童の作品 (一部)

【子】お母さん しかりかたにも きをつけて
【親】これでもじゅうぶん きをつけてるよ

【子】父さんを ドリブルでぬく 初げりだ
【親】うまくなったと ためいきもれる

【子】ねていても いつも見ている おかあさん
【親】風邪をひくなど 布団を直す

【子】おかあさん ふとんのなかで 手をつなごう
【親】ほかほかするね ころもひとつ

【子】すぐにでも 身長ぬきたい おいこしたい
【親】いつでも準備は オッケーですよ

■ 大会の様子



■ 有段者との交流対戦



■ 札に集中する児童



■ 翌日の新聞記事
(中国新聞社提供(2020.3.1.20))

■ 参加児童の感想

- ・ 去年は初めてで2回勝ったので、来年は1回でも多く勝ちたいと思っていました。それで、今年参加したのですが、一人目から強くて目が点になるような速さだったので勝てるかなあ、1回も勝てないかもと思っていましたが、何回かして1回勝てたときはとてもうれしかったです。最後に合計で3回勝てたのでうれしかったです。それでも6回負けているので、来年は負ける回数を少なくしたいです。来年もまた来たいです。リベンジもしたいです。新しい友だちもできたのでうれしかったです。
- ・ 予選が9回あったので、今までより多く勝つことができました。今まで知らなかった人と対戦できて仲良くなったのでよかったです。中学生になっても続けたいです。
- ・ 今年の大会は有段者3人と直接戦える機会もあったので、うれしかったです。近くで存在を感じることができてドキドキしました。有段者の人達は上の句の決まり字を聞いた瞬間に取るのですごくいいと思いました。